

継続事業評価シート

評価実施日 令和2年3月31日

令和元年度(3年目)

事業コード	2	事業名	経営指導カルテ機能活用事業			戦略コード	1	戦略名	育て・挑戦を支える商工会		
担当部名	企業振興部	担当課名	経営支援課	担当課長名	佐々木隆太	施策コード	1	施策名	巡回相談の質的向上による個社支援の強化		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

巡回相談の行動記録として活用し、経営指導カルテを基に一連の経営支援活動を管理することが求められている。

2. 事業のねらい

経営指導カルテについて、経営計画の策定から計画に基づく実行へと導く一連の経営支援活動を管理するためのツールとして、様式の改善を図る。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	-	H30	C	R1		R2
-----	-----	---	-----	---	----	--	----

経営指導カルテは全国統一のものであるため、新たな様式を導入することができなかった。今後は「事業タグ」の活用を推進し、全国連への経営指導カルテのあり方提案につなげたい。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

「県連タグ」を設定しカルテの集計機能を高めることで、経営支援活動の進捗状況管理に活用していく。

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
4	経営指導カルテの見直しと整備	カルテは全国統一の様式のため、見直しはできなかったが、カルテの集計機能を活用し、経営支援状況を進捗管理する手法を整備した。	a	b	a	B

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード	取組コード					取組コード	取組コード					取組コード	取組コード				
指標名	指標名					指標名	指標名					指標名	指標名				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標						目標						目標					
実績						実績						実績					
達成率						達成率						達成率					
達成度						達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) **a**

〈評価の理由〉

経営指導カルテの集計機能の活用は、創生プランの推進において、リアルタイムで進捗を確認・共有するために有効であるため、事業は必要である。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) **b**

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

経営指導カルテの様式は全国統一であるため変更はできなかったが、集計機能を強化し、進捗管理に活用している。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)削減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) **a**

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

集計機能を強化したことで、事業者に対する経営支援活動の進捗状況管理が容易となり、時間的コストの削減につながった。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 **B**

経営指導カルテの様式は全国統一であるため変更はできなかったが、集計機能を強化し、進捗管理に活用することで時間的コスト削減につながっている。

3. 課題

小規模事業者支援法の改正に伴い、支援内容に合わせた集計項目の改善が必要である。

4. 今後の対応方針(改善点)

経営発達支援事業、事業継続力強化支援事業、基礎的経営改善普及事業のタグを設定し、商工会業務の分類と集計が可能となるようルール整備を行う。将来的に、BIZミルなど他システムの導入も含めた検討が必要。